

BEST AVAILABLE COPY

## FLIP-UP SEAT FOR AUTOMOBILE

Patent number: JP2003275058

Publication date: 2003-09-30

Inventor: YOSHIDA NAO

Applicant: TAKANICHI KK

Classification:

- international: A47C7/56; A47C7/62; B60N2/30; A47C7/00; A47C7/62;  
B60N2/30; (IPC1-7): A47C7/62; A47C7/56; B60N2/30

- european:

Application number: JP20020080179 20020322

Priority number(s): JP20020080179 20020322

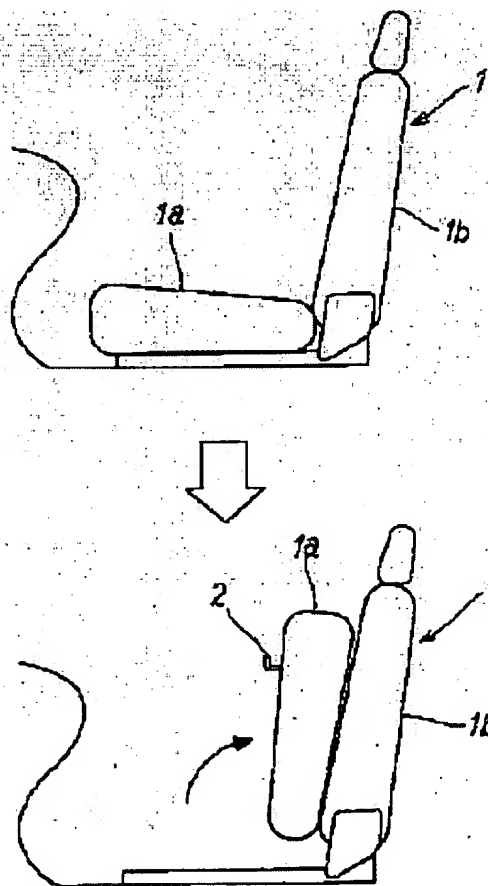
Report a data error here

## Abstract of JP2003275058

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a flip-up seat for automobiles capable of preventing baggage from scattering during traveling and of preventing the seat from being contaminated by the baggage by effectively utilizing a front floor surface of the seat as a space for placement of the baggage.

**SOLUTION:** This flip-up seat for the automobiles provided with a seat cushion flappable up toward a seat back side is mounted with a hook for hanging the baggage on the rear surface of the seat cushion so that the baggage is hooked to the hook and is held in the state of flipping up the seat cushion toward the seat back side.

COPYRIGHT: (C)2003,JPO



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

# BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号  
特開2003-275058  
(P2003-275058A)

(43)公開日 平成15年9月30日(2003.9.30)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード(参考)
A 4 7 C	7/62	A 4 7 C	7/62
	7/56		7/56
B 6 0 N	2/30	B 6 0 N	2/30
			Z 3 B 0 8 4
			3 B 0 8 7

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21)出願番号 特願2002-80179(P2002-80179)

(22)出願日 平成14年3月22日(2002.3.22)

(71)出願人 000169916

タカニチ株式会社

愛知県豊田市大島町前畑1番地の1

(72)発明者 吉田 奈緒

愛知県豊田市大島町前畑1番地の1 高島

屋日発工業株式会社内

(74)代理人 100078101

弁理士 綿貫 達雄 (外2名)

Fターム(参考) 3B084 JA07 JC03

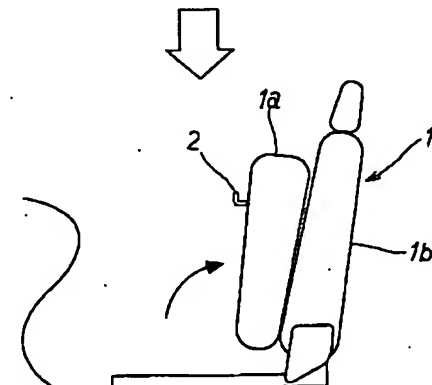
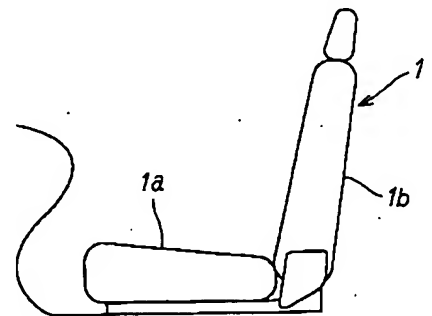
3B087 CB14

(54)【発明の名称】 跳ね上げ式自動車用シート

(57)【要約】

【課題】 シート前方の床面を荷物置き用スペースとして有効に利用して、走行中に荷物が散乱することを防止することができ、また荷物によってシートが汚れるものも的確に防止することができる跳ね上げ式自動車用シートを提供する。

【解決手段】 シートクッションをシートバック側へ跳ね上げ自在とした跳ね上げ式自動車用シートにおいて、前記シートクッションの裏面側に荷掛け用のフックを取り付け、シートクッションをシートバック側へ跳ね上げた状態で前記フックに荷物を引っ掛けて保持するようにした。



## BEST AVAILABLE COPY

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 シートクッションをシートバック側へ跳ね上げ自在とした跳ね上げ式自動車用シートにおいて、前記シートクッションの裏面側に荷掛け用のフックを取り付け、シートクッションをシートバック側へ跳ね上げた状態で前記フックに荷物を引っ掛けて保持するようにしたことを特徴とする跳ね上げ式自動車用シート。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、シート前方の床面を荷物置き用スペースとして有効に利用することができる跳ね上げ式自動車用シートに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】通常、セダンタイプの自動車にはトランクルームと称される荷物置き場が設けられている。また、車室を長くして座席後部を荷室として利用するようにしたワゴンタイプの自動車もあるが、いずれのタイプの自動車でも荷物を置くための専用のスペースが準備されているのが普通である。

【0003】しかしながら、ちょっとした買い物程度ではわざわざ荷物を荷室に収納するのは面倒なため、助手席側フロントシートのシートクッション上やシート前方の足元に荷物を置くケースが多い。この場合は、荷物が何ら拘束されておらずフリーな状態にあるため、急ブレーキをかけたような場合には荷物が転がったり、散らかったりして危険であるという問題点や、荷物が濡れていたり汚れていたりするとシートを汚してしまうという問題点があった。また、シートクッション上とシート前方の足元だけのスペースでは大きな荷物を置くことができないという問題点もあった。特に、雨降りに使用した長傘を車内へ持ち込んだ場合、適当な置き場所がなくて不便であった。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記のような従来の問題点を解決して、走行中に荷物が散乱することを防止することができ、また荷物によってシートが汚れるのをも的確に防止することができ、更には大型の荷物や長傘のような長尺物も安心して置いておくことができる跳ね上げ式自動車用シートを提供することを目的として完成されたものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するためになされた本発明の跳ね上げ式自動車用シートは、シートクッションをシートバック側へ跳ね上げ自在とした跳ね上げ式自動車用シートにおいて、前記シートクッションの裏面側に荷掛け用のフックを取り付け、シートクッションをシートバック側へ跳ね上げた状態で前記フックに荷物を引っ掛けて保持するようにしたことを特徴とするものである。

## 【0006】

【発明の実施の形態】以下に、図面を参照しつつ本発明の好ましい実施の形態を示す。図において、1はシートクッション1aおよびシートバック1bからなるシートであり、前記シートクッション1aは後端部にあるヒンジ（図示せず）を中心に回転してシートバック1b側へ跳ね上げ可能な構造となっている。

【0007】そして本発明では、前記シートクッション1aの裏面側に荷掛け用のフック2を取り付け、シートクッション1aをシートバック1b側へ跳ね上げた状態で、前記フック2に荷物を引っ掛けて保持するように構成されている。

【0008】前記荷掛け用のフック2は、シートクッション1aを跳ね上げた状態で荷物Pを確実に吊り下げ保持できるように、シートクッション1aの前方部裏面側に取り付けられるものであり、特に図2に示されるように、合成樹脂製の買い物袋のような形の定まらない荷物Pでも的確に吊り下げ保持することが可能で、荷物の散乱を確実に防止できるものである。また、図3に示されるように、例えば濡れた長傘のような荷物Pでも把手の部分でフック2に引っ掛けておけば、安定して保持できることとなるとともに、傘が垂れたとしてもシートクッション1aが跳ね上げられているため、シート表面が濡れることも防止でき使い勝手に優れたものである。更には、本発明ではシートクッション1aを跳ね上げることによりシート前方に広大な荷物置き場を形成できるため、前記袋物や長傘の荷物Pだけでなく、カバン等の大きな荷物も十分に収納することが可能であり、収納容量を多に高めることができるものである。

【0009】このように構成したものでは、通常はシート1が着座者の使用に供されているが、荷物置き場として使用したい場合には、図1に示されるように、シートクッション1aをシートバック1b側へ跳ね上げてシート前方に広いスペースを確保し、この状態で荷物Pを積み込む。この場合、広いスペースに対し荷物Pを積み込むので、優れた作業性を発揮できることとなる。次いで、図2あるいは図3に示されるように、形の定まらない袋物や長傘等の荷物Pをフック2に引っ掛けて吊り下げ保持すれば、安定した状態で荷物Pを保管することができることとなる。また、シートクッション1aを跳ね上げた状態で荷物置き場を確保するため、大きな荷物や長い荷物も十分に収納することが可能となり、更には荷物が汚れたり濡れていたりしてもシート表面を汚すことがなく、優れた使い勝手を発揮できることとなる。

## 【0010】

【発明の効果】以上の説明からも明らかなように、本発明は走行中に荷物が散乱することを防止することができ、また荷物によってシートが汚れるのをも的確に防止することができ、更には大型の荷物や長傘のような長尺物も安心して置いておくことができるものである。よって本発明は従来の問題点を一掃した跳ね上げ式自動車用シ

ートとして、産業の発展に寄与するところは極めて大である。

【図面の簡単な説明】

【図1】シートクッション1aを跳ね上げる工程を示す説明図である。

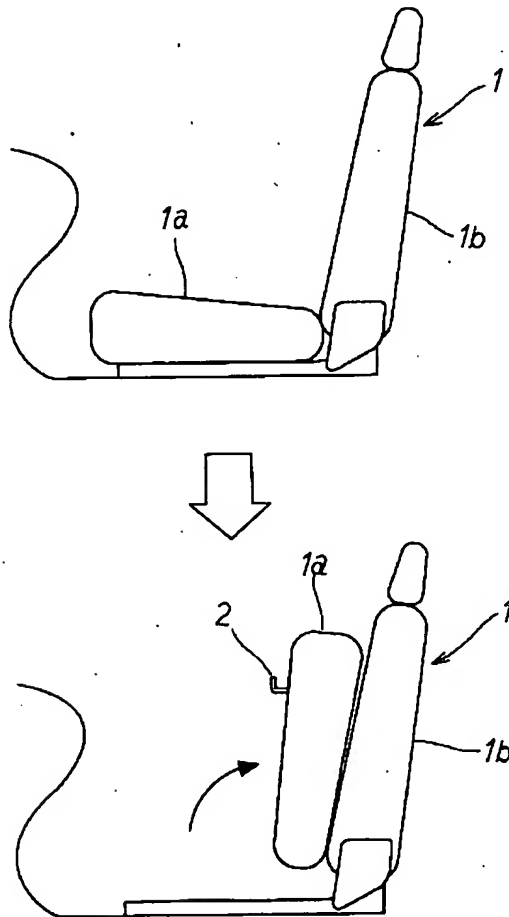
【図2】本発明の実施の形態を示す側面図である。

【図3】その他の実施の形態を示す側面図である。

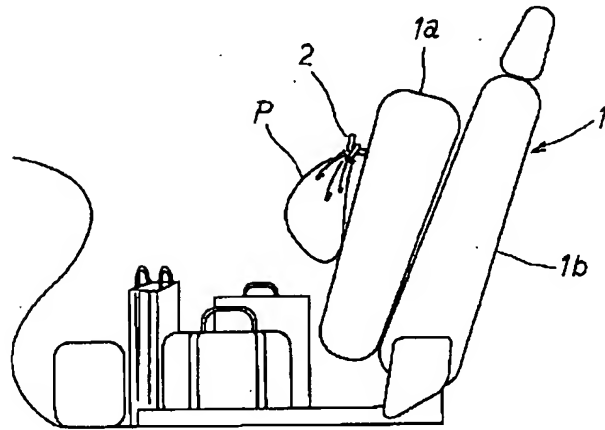
【符号の説明】

- 1 シート
- 1a シートクッション
- 1b シートバック
- 2 フック

【図1】



【図2】



【図3】

